

大悪大善御書

御書新版 2145頁 1行目〜3行目
御書全集 1300巻 1行目〜3行目

大事には小瑞なし。大悪おこれば大善き

たる。すでに、大謗法、国にあり。大正法、

必ずひろまるべし。各々にをかなげかせ

給うべき。迦葉尊者にあらずとも、まいを

もまいぬべし。舍利弗にあらねども、立つ

ておどりぬべし。上行菩薩の大地よりいで

給いしには、おどりてこそいで給いしか。

通解

大事の起こる前には小さな瑞相はない。大悪が起これば大善がくる。すでに大謗法が国にある。それゆえ、大正法は必ず広まるであろう。あなたたちは何を嘆かれることがあるうか。(必ず大善がくるとの喜びに) 迦葉尊者でなくても、舞を舞うべきところである。舍利弗でなくても、立って踊るべきところである。上行菩薩が大地から現れた時には、まさに踊り出られたのである。

語句

迦葉尊者

釈尊の十大弟子の一人。衣食住に関する欲望などを払い除く頭陀行に徹し、「頭陀第一」といわれた。

舍利弗

釈尊の十大弟子の一人。「智慧第一」といわれた。

上行菩薩

法華経に登場する、地涌の菩薩を代表する四菩薩の筆頭。末法における正法弘通が上行をはじめとする地涌の菩薩に付嘱された。